

アクションプラン策定の背景

＜アクションプラン策定の背景＞

- 女性のライフスタイルが多様化しており、経済的基盤の確立に向けた、それぞれの状況に応じた支援が重要
- 生産年齢人口が減少するなか、地域経済の発展のためにも女性活躍の推進は不可欠
- 一方で、「男性は仕事、女性は家庭」というような固定的な性別役割分担意識が存在し、女性の社会での活躍の機会を阻害する要因の一つとなっている

分野別の男女平等意識(R元) 「家庭または職場生活において男女の地位が平等である」と答えた人の割合
家庭生活：35.2%(男性41.2%/女性30.6%) 職場生活：34.3%(男性39.1%/女性30.6%)

＜本県の特徴＞

- 本県は、女性の有業率が73.6%と全国平均に比べ高く、女性の管理職割合は全国 2 位
- 民間調査の「男性の家事・育児ランキング」で全国1位
- 6歳未満の子がいる家事・育児関連時間 高知県(R3)夫147分/妻424分 (H28)夫79分/妻433分
⇒夫と妻の負担には大きな開きがあるが、本県では男性の家事・育児に対する意識の変化がうかがえる

目指す姿・取組の方向性



＜目指す姿＞

- ・女性が自らの希望や意思に基づいて人生を選択し、個性や能力を最大限に発揮できる高知県
- ・オール高知で社会や職場での女性の活躍を後押しし、日本一女性が活躍できる高知県

＜取組の方向性＞

性別にかかわらず社会や職場、家庭、地域で自分らしく活躍できる社会づくりを目指し、施策の一つ目の柱に『女性の活躍に向けた意識改革の推進』を掲げ、高知県全体で女性の活躍を推進する風土づくりに取り組む

＜計画期間＞ 令和 5 ～ 7 年度（3 年）

柱Ⅰ 女性の活躍に向けた意識改革の推進

KPI/ワークライフバランス推進企業認証制度の
女性活躍推進部門取得企業数 R7：90社

KPI/県内企業における男性の
育児休業取得率 R7：50%

KPI/未就学の子がいる男性の平日の家事・育児関連時間
(妻を100としたときの夫の割合) R7：55%

KPI/女性活躍推進計画策定市町村の割合
R7：市100%、町村70%以上

1. 職場風土の改革

▽多様な人材活躍に向けた経営者の意識醸成

- ・働き方改革トップセミナー

▽育児と仕事の両立への相互理解の促進

- 新**・男性の育児休業取得を促進するTVCM等
- 拡**・育児休業を取得促進するための研修

2. 男性の家庭・地域での活躍促進

▽育児取得者の両立に向けた不安解消

- 拡**・育児休業の取得を促進するための研修

▽男性の家事・育児等のスキルアップ支援

- ・男性向け家事・介護基礎講座の開催
- 拡**・男性インフルエンサーによる情報発信

3. 女性への勇気づけ(エンカレッジ)

▽キャリアアップに向けた啓発

- 新**・女性管理職等のネットワークづくりと人材育成
- ・女性の活躍応援セミナー
- ▽中山間地域でのつながり支援
- 新**・出張カフェの開設による女性の交流促進等

4. 次世代へのキャリア教育・啓発

▽キャリア・ライフデザインについての啓発

- ・大学生向けキャリア形成セミナー
- ・ライフデザインに関する啓発リーフレット配布
- ▽様々な分野における仕事の魅力発信

5. 市町村における意識醸成

▽市町村への計画策定支援

- ・訪問や情報提供等による計画策定支援

▽市町村による両立支援の促進

- 新**・人口減少対策総合交付金（共働き・子育ての推進等）

柱Ⅱ 女性が活躍できる環境づくりの推進

KPI/男女の賃金格差 R7：85%

KPI/ワークライフバランス推進延べ認証企業数 R7：840社

KPI/県内企業における女性の管理職割合 R7：35%

1. 女性の経済的基盤の確立

生活基盤の安定に向けたきめ細かな相談・就業支援

▽きめ細かな就労支援

- ・高知家の女性しごと応援室による就労支援
- 拡** 市町村と連携したセミナー開催
- ・ジョブカフェこうち、福祉人材センターによる就職支援

▽ひとり親支援

- ・ひとり親家庭支援センターによる相談支援

▽困難な問題を抱える女性への支援

- ・女性相談支援センターによる相談・自立支援

3. ライフステージに応じた女性の就業継続

就業継続・職場復帰への支援

▽就業継続・職場復帰に向けた相談支援

- ・高知家の女性しごと応援室による就労支援(再掲)
- ・ひとり親家庭支援センターによる相談支援(再掲)

育児・介護との両立を支える環境整備

▽育児・介護と仕事を両立できる環境づくり

- ・子育て支援の情報発信（プレマnetなど）
- ・ファミリー・サポート・センターによる支援

女性のキャリア形成支援

▽リカレント教育、リスキリングの機会の提供

- ・土佐まるごとビジネスアカデミー **新**・女性を対象としたデジタル技術のリスキリング支援、就職マッチング支援(再掲)

2. 女性の活躍の場の拡大

就業の場の拡大と人材育成

▽一次産業や建設業における活躍の場の拡大

＜農業＞

- 新**・女性が働きやすい環境整備への支援
- 拡**・宿泊短期研修(体験型)女性向けメニューの実施

＜林業＞

- ・女性が働きやすい環境整備への支援
- ・女性をターゲットとした「こうちフォレストスクール」

＜水産業＞

- 新**・女性が働きやすい職場づくりに向けた専門家派遣
- 新**・女性就業者の意見交換会

＜建設業＞

- 拡**・総合評価における加点对象(女性技術者の配置等)工事の拡大
- 新**・新たな仕事(建設ディレクター)の導入支援 **拡**・若手・女性技術者が活躍できるデジタル技術の講習会開催

▽デジタル分野の技術習得・就業支援

- 新**・女性を対象としたデジタル技術のリスキリング支援、就職マッチング支援
- ・高知デジタルカレッジに女性が受講しやすい仕組みを導入

▽IT・コンテンツ企業の誘致の推進

- ・IT・コンテンツ企業の立地経費への助成

▽起業に向けた支援

- ・「こうちスタートアップパーク」における中山間地域の方や女性を対象とした起業プログラム実施
- 新**・中山間地域での生業づくりを対象とした支援

4. 働きやすい職場づくりの推進

多様な人材が活躍できる職場環境づくりの推進

▽働き方改革の推進

- 新**・多様な人材活躍のための環境整備への支援
- 拡**・社労士等のコンサルティングによる伴走支援

▽働きやすい職場づくりに取り組む企業の顕彰

- 拡**・高知県ワークライフバランス推進企業の普及拡大
- ・福祉・介護事業所認証評価制度の取得促進

5. 女性の登用促進

意思決定の場への女性の参画促進

▽経営者の意識啓発

- ・働き方改革トップセミナー(再掲)
- ・高知県ワークライフバランス推進企業（女性の活躍推進部門）の普及拡大

▽各分野における女性の人材育成

- 新**・女性管理職等のネットワークづくりと人材育成(再掲)

柱Ⅰ女性の活躍に向けた意識改革の推進〈KPI〉	出発点	R6	目標値（R7）
ワークライフバランス推進企業認証制度の女性活躍推進部門取得企業数	50社（R4）	96社(R7.1時点)	90社
県内企業における男性の育児休業取得率	15.8%（R3）	35.0%（R6速報値）	50%
未就学の子どもがいる男性の平日の家事・育児時間 （妻を100としたときの夫の割合）	39.3%（R4）	41.6%	55%
女性活躍推進法に定める推進計画策定市町村の割合	市72.7%(8市) 町村34.7%(8町村)(R4)	市72.7%(8市) 町村34.7%(8町村)	市100%(11市) 町村70%以上(17町村以上)

重点施策		※16の重点的な取組のうち6つを抜粋	
PLAN	事業・取組名称	R5取組/実績	R6取組
①職場風土の改革	ワークライフバランス推進企業認証制度の普及拡大	・アドバイザー（社会保険労務士）による県内企業に対する支援を行う ・専用ホームページの開設や新聞及びパンフレット等により、制度の周知や認証企業の取組の横展開を図る。 R5年度末実績：777社（うち女性活躍推進部門79社）	・アドバイザーを増員（7名→9名）し、小規模企業・中山間地域に所在する企業への訪問を強化 ・ポータルサイトや新聞及びパンフレット等により、制度の周知や認証企業の取組の横展開を図る。 〔R7.1実績〕843社（うち女性活躍推進部門96社）
	共働き・共育て県民運動の推進		新 家庭や職場等における固定的な性別役割分担意識を解消し、家事も育児も男女間で分かち合う「共働き・共育て」の生活スタイルを推進するため制作した啓発動画をテレビCMやSNS広告で配信、街頭ビジョンで放映 ・「共働き・共育て」推進のこうち共同宣言 9月:19団体 11月:9団体
②男性の家庭・地域での活躍促進	男性向け家事基礎講座	〔実績〕親子料理教室：8月20日（日）参加者：9組	〔R6.9末実績〕親子料理教室：8月4日（日）参加者：10組
③女性への勇気づけ（エンカレッジ）	ソーレでの女性向け人材育成セミナーの開催	企業研修としての活用を想定し、平日にオンデマンド方式で開催	企業研修としての活用を想定し、平日にオンデマンド方式で開催する。庁内職員に対して、男女共同参画職員研修の1つとして参加を促す。
④次世代へのキャリア教育・啓発	大学生向けキャリア形成セミナー	仕事を含めどのような人生を自分が求めているか、ロールモデルから学び、考える講座 R5実績：3回203人	仕事を含めどのような人生を自分が求めているか、ロールモデルから学び、考える講座 R6・9末実績：2回128人
⑤市町村における意識の醸成	市町村の計画策定支援	・計画の策定ができていない自治体への働きかけを実施 ・市町村の策定作業にあたっての県の具体的なサポートを提案	各市町村に策定状況についてのアンケートを実施し、策定予定もしくは改定予定の市町村を把握。個別にヒアリングを実施。
	人口減少対策総合交付金		新 交付金を活用した「共働き・共育て」の推進

課題	検討中の施策
・KPIについて、WLB認証企業数（女性活躍推進部門）、県内企業における男性の育休取得率、妻を100としたときの夫の平日の家事育児時間は、目標に対して着実に進んでいるが、まだまだ意識改革の取組が必要。 ・キャリア教育の取組は進んでいるものの、女性活躍の視点での取組が必要。	拡 「共働き・共育て」推進運動 ⇒動画の作成、TVCMやWEB広告を通して県民運動の発信を強化 新 女子中高生へのキャリア教育推進事業 ⇒次世代へのキャリア教育の取組として若者の将来的なUターン促進に向けた事業を実施検討中

女性活躍推進計画アクションプランの進捗状況について

柱Ⅱ 女性が活躍できる環境づくりの推進〈KPI〉	出発点	R6	目標値（R7）
男女の賃金格差（男性を100としたときの女性の割合）	79.4%（R3）	80.4%（R5）	85%
高知県ワークライフバランス推進企業認証制度延べ認証企業数	632社（R4）	843社（R7.1時点）	840社
県内企業における女性の管理職割合	27.0%（R3）	－	35%

重点施策		※44の重点的な取組のうち6つを抜粋	
PLAN	事業・取組名称	R5取組/実績	R6取組
①女性の経済的基盤の確立	「高知家の女性しごと応援室」による就労相談・支援	・職業適性診断や職業相談、求職者と企業のマッチングに向けた調整、無料職業紹介、職場定着支援を行う。 ・企業からの相談にも対応し、女性の人材確保や活躍に向けた支援を行う。 ・就職者数：171名、新規相談者数：508名、相談件数：2,361件	新規取組として、求職者の就職に対する不安を払拭し、雇用のミスマッチを防ぐための職場体験を実施。
②女性の活躍の場の拡大	女性デジタル人材育成事業		新 所得向上やリスキリングを希望する女性をデジタル人材として育成し、主に県内の企業とマッチングを実施。（応募者150名/定員60名）
③ライフステージに応じた女性の就業継続	企業版両親学級の開催支援	若手従業員に向けて、企業版両親学級を開催し、育児とキャリアの両立の啓発を行う。	企業ごとの状況やニーズに合った両親学級の実施。
④働きやすい職場づくりの推進	働きやすい環境整備事業費		新 女性をはじめとする働く意欲のある人が適材適所で活躍できるような環境整備を行う中小企業等への支援を重点的に行うことで、企業の人材確保・定着を支援。
⑤女性の登用促進	働き方改革トップセミナー	経営者層を対象に働き方改革や女性の活躍をテーマにしたセミナーを開催する。 第1回 参加者：151名（うちオンライン：31名） 第2回 参加者：100名（うちオンライン：30名）	経営者層を対象に働き方改革や女性の活躍をテーマにしたセミナーを開催。 第1回 参加者：151名（うちオンライン：30名） 第2回 参加者：109名（うちオンライン：23名）
	女性管理職登用促進事業		新 働く女性の活躍に向けたキャリアイメージの構築、モチベーションを後押しすることを目的に研修やワークショップを開催する。 第1回 参加者：21名 第2回 参加者：21名

課題	検討中の施策
・高知県WLB推進企業認証制度認証企業数は目標を達成しているが、男女の賃金格差は着実に差は縮まっているものの目標には遠い。 ・女性が経済的基盤を確立するため、職場において活躍するためにはまだまだ取組が必要。	拡 女性デジタル人材育成事業は受講者定員を80名に増（R6年度定員60名）多様で柔軟な働き方ができるようプログラムの拡充を検討。 ・一次産業や建設業における女性の進出の後押しをするため、農業プロモーション動画の作成・広告配信や、建設業では、建設ディレクター含め「女性活躍」に焦点を当てたPRの実施を検討。